

滋賀・石堂選挙区候補と初街宣

比例代表・大門みきし参院議員は3日、JR大津京駅前で石堂あつし参院滋賀選挙区予定候補とともに訴えました。演説に足を止め、ウクライナ支援募金をする方など、約70人の聴衆が集まりました。石堂氏の候補者発表後、初めての一緒の宣伝。

大門議員は、物価高騰・生活防衛対策本部を立ち上げ、消費税の減税などを政府に要請したことを紹介。国民に冷たい新自由主義をやめ、「やさしく強い経済」への切り替えを訴え。「やさしく強い経済」では特に社会保障の充実が経済活動にも大きなプラスになることを強調。財界の政治部のような自民党では変えることができない」と、参院選での躍進を訴えました。



どがにぎやかに宣伝しました。ウクライナ侵略を「どうやって止めるか」の話には多くの通行者が関心を持って聞いていました。

兵庫・佐用町演説会、姫路駅前で訴え

2日に行われた兵庫県佐用町議選（24日投票）と参院選勝利めざす演説会は、会場いっぱいの100人が参加。こむら潤選挙区候補、3町議候補とともに訴えました。

この後、姫路駅前でこむら候補、入江次郎県議、姫路市議団と街頭宣伝。市民ラジオのDJが応援演説、30人ほどがにぎやかに宣伝しました。ウクライナ侵略を「どうやって止めるか」の話には多くの通行者が関心を持って聞いていました。

京都府知事選支援

10日投票の京都府知事選でかじかわ憲候補勝利へ、5日、京都市左京区の演説会で訴え。「かじかわさんが訴えていることは『やさしく強い経済』そのものだ」と強調しました。7日には南区の演説会でも訴え。この日、清水ただし前衆院議員は伏見区の演説会に参加しました。



「地域経済・雇用まもれ」

和歌山有田 ENEOS 撤退問題で政府要請

党和歌山県委員会と県議団、有田地方議員団は6日、有田市のENEOS製油所撤退問題で、経済産業省に地域経済と雇用を守るよう国の責任を果たせと要請。大門参院議員が同席しました。

ENEOSホールディングスは1月25日に突如、2023年10月を目処に和歌山製油所の閉鎖を発表。同製油所は80年を超えて操業、出荷額は、有田市の製造品出荷額の90%超。要請では、「協力会社の若い社員が将来不安から退職した」「今春の内定取り消しをした会社もある」などの事例もあげ、現時点で判明している情報の公開、企業に地域経済と雇用を守るなど社会的責任を果たさせるよう国の責任を果たすことなどを求めました。

政府の担当者からは、「地域への影響、歴史や役割を含め大きい。経営判断で撤退とはさすがに不義理ではないか。業種転換や跡地の活用などもサポートしたい」と回答。

大門議員は、「今直面している事態にどう対応するのか。協力会社の当面のつなぎの融資や業種転換支援、雇用を守ることなど支援スキーム（枠組み）が必要ではないか」と提起。担当者は「検討したい」と答えました。

22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 15 (2022.4.7)